

市議会10月臨時会

市議会臨時会が10月14日に開かれました。臨時会には9月定例会で廃案になった一般会計補正予算、消防団員等賞じゅつ金条例の制定など21議案を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

土木費に1億9038万円

一般会計は歳入歳出にそれぞれ7億9500万円を追加し、予算総額は80億2530万円になりました。

補正した主なものは歳入では市税の4億6360万円、繰越金の2億515万円、県支出金の4275万円、地方交付税の2000万円などです。歳出では土木費の1億9038万円、予備費の3億8000万円、教育費の7316万円、農林水産業費の5230万円、衛生費の3464万円などです。

総務費の補正額は2696万円。広報無線局の受信局5局の増設などを387万円で行ないます。地区委員の委託料改正にともない732万円を補正しました。交通安全対策費は1359万円で、柳島地先と堅堀地先に信号機の設置助六富士川線に歩道の設置などを行ないます。

民生費の補助額は1324万円。第1保育園の増改築や用地取得を1060万円で行ないます。市民会館の修理を239万円で行ないます。

衛生費は3464万円。第2清掃作業所の焼却炉の補修やブルドーザーの借上げなどゴミやし尿の処理に130万円を補正しました。公害病認定にともなう呼吸器疾患の調査を90万円で行ないます。下水道事業特別会計へ1204万円、病院事業会計へ800万円の繰出しを行ないました。

農林水産業費は5230万円。穴原排水路や浮島水源整備など土地改良に638万円を補正しました。今宮と岩本の農免道路の整備を1442万円で行ないます。大富士地区農業構造改善事業に2440万円の補助をしました。林業費は228万円で森林公園の造成などを行ないます。

土木費の補正額は1億9038万円。道路

一般会計に7億9500万円を補正  
21議案を原案どおり可決

維持費は4870万円で愛鷹新屋敷線、中野三ツ倉線などの工事を行ないます。道路新設改良費は1億74万円で、三ツ倉穴原線や二ツ家四ツ家線などの新設、元富士2号線や原田吉原停車場線などの舗装などを行ないます。河川の改良は3115万円で、国久堀や和田川の改良などを行ないます。

消防費は2116万円。防大水槽を2カ所に新設するほか、消火栓を55カ所に設置します。分団詰所は16分団の改築の追加補正などです。

教育費は7316万円。このうち小学校費が1708万円で、厚原小学校(仮称)の設

計委託、校舎の維持や塗料、運動場の補修などを行ないます。中学校費は828万円で、田子浦中学校の設計委託、吉原1中の増築工事の追加補正などが主なものです。高等学校費は745万円で、商業高校の生活館付帯工事が主なものです。幼稚園費は3257万円で、岩松と富士南幼稚園の園舎増築、天間幼稚園の敷地造成を行ないます。

消防団員などに  
賞じゅつ金を

富士市消防団員等賞じゅつ金条例が制定されました。

この条例は消防団員、水防団員、消防史員が出動中にケガをしたり、死亡したときなどに賞じゅつ金、見舞金を贈るものです。

賞じゅつ金は、殉職者賞じゅつ金と障害者賞じゅつ金があります。殉職者賞じゅつ金は150万円から500万円まで、障害者賞じゅつ金は100万円から500万円まで支給します。なお、扶養親族がいる場合はそれぞれの基準によつて加算が行なわれます。見舞金は、ケガをして休業したり、自分の家が罹災した場合に支給されます。



【原田吉原停車場線の舗装などを】

各会計別予算額

	補正額	総額
一 般 会 計	7億9,500万円	80億2,530万円
【 特 別 会 計 】		
国民健康保険事業	0	8億2,000万円
下水道事業	7,722万円	2億6,652万円
青島津田土地区画整理事業	0	5,676万円
依田原新田土地区画整理事業	0	3億4,950万円
学校給食事業	403万円	3,993万円
魚市場事業	101万円	414万円
内 旧 山	24万円	3,554万円
旧 吉 原	△58万円	150万円
旧 島 今 泉	9万円	160万円
旧 今 泉 一 色 神 戸 今 宮	28万円	3,115万円
旧 元 吉	0	720万円
旧 須 吉 原	48万円	228万円
旧 須 吉 原	0	200万円
旧 須 吉 原	0	200万円
旧 須 吉 原	0	988万円
旧 須 吉 原	0	693万円
公共用地先行取得事業	1億円	3億9,339万円
駐 車 場 事 業	860万円	1,760万円
【 企 業 会 計 】		
水 道 院 事 業	1億8,718万円	10億1,123万円
水 道 院 事 業	800万円	7億8,305万円
市の予算総額		118億6,549万円
		△は減額を示す